

平成 25 年度第 1 回弘前市立博物館協議会会議概要

日 時 平成 25 年 10 月 8 日(火) 午後 1 時 25 分 開会
午後 2 時 50 分 閉会

場 所 弘前市立弘前図書館 2 階会議室

出席者 委員長 小嶋 義憲 副委員長 蝦名 敦子 委 員 岩谷 武治
委 員 須藤 廣志 委 員 白取 幸子 委 員 山本 和之
委 員 島内 智秋 委 員 葛西 徹 委 員 稲見 則彦
委 員 木村 房雄

(市立博物館)

館長 土谷 伸夫 館長補佐 木村 斉 主査兼学芸員 三上 幸子

(会議次第)

- 1 開 会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 案 件
 - (1) 平成 24 年度事業報告について
 - (2) 平成 25 年度事業経過報告について
 - (3) 平成 25 年度資料収集状況について
 - (4) 平成 26 年度事業計画案について
 - (5) その他
 - 4 閉 会
-

事務局 これより平成 25 年度第 1 回弘前市立博物館協議会を開催いたします。
委員長からのごあいさつをお願いいたします。

委員長 (あいさつ略)

事務局 次に、会議の議長は、弘前市立博物館管理運営規則第 3 条第 2 項により委員長が務めることとなっておりますので委員長、議事進行お願いいたします。

委員長 本日の出席委員 10 人で、過半数を超えておりますので、会議は成立いたします。直ちに案件の審議に入りますが、議事の進行についてよろしく御協力お願いいたします。

【～案件の(1)平成 24 年度事業報告について】

委員長 まず、本日の案件(1)について事務局から説明をお願いいたします。
配布資料に基づき平成 24 年度事業報告(展覧会ごとの入館者数、有料・無料内訳)について事務局が説明

委員長 案件1について何か質問、ご意見ございますか。

委員 案件1企画展2の弘前ねぷた展の無料欄にある視察の内訳は何か。

事務局 これは例年ねぷたまつりのとき、来弘した当市と友好都市を結んでいる旧尾島町の太田市のスポーツ少年団の小学生と引率者の人数である。

委員 親子鑑賞会について意見がある。特別企画展2ヨーロッパの絵画のときたまたま鑑賞会の時来まして一緒に見ました。ヨーロッパ絵画は見るのが難しいですが、子供向けにされたのですのでわかりやすかった。それが本当にありがたいと思った。できれば普通の館蔵品の企画展のときでもすべてでなく必要なものを鑑賞するような学芸員の解説付きの鑑賞会があればいいと思う。なかなか子供向け解説は負担があると思いますが。今後ご検討いただければと。

事務局 歴史に関わる展示は難しい面はありますが、館としても大事なことと考えており極力子供向けの解説は検討してまいりたい。

【案件（2）平成25年度事業経過報告について】

委員長 次に案件（2）について事務局からお願いします。

配布資料に基づき平成25年度事業経過報告(展覧会ごとの入館者数)について事務局が説明

委員長 案件（2）について何か質問ございますか。

委員 旧図書館は博物館の管轄ではないと思うが今回改修で、旧市立図書館を借用するに至る経緯を聞きたい。

事務局 中央公民館岩木館は、現在の博物館の位置からは地理的に遠いことから車のない方も展覧会をご覧になれるように市の中心部でも開催できないかという指示もあった。休館中の展示場所の選定に当たっては、例えば文化センターや百石町展示館は市民が使用しており市で占有はできない。よって市民サービスの低下にならず使用料がかからない場所を検討した。例えば藤田記念庭園、旧図書館などから利便性が高く市の建物で金がかからない場所を総合的に検討した結果である。

委員 今年度の旧図書館の観覧者数はすごい集客力である。たまさか25年度が改修工事でこうなったのかもしれないが、仕掛けるとすれば博物館にとっても宣伝効果も含めてキーポイントになる数字ではないか。その辺は考えたりしているか。

事務局 県重宝の旧図書館の建物そのものを見に来ている観光客も含まれており、展覧会と両方ご覧になる方が多いので若干人数も多い。

ただ建物自体県重宝であることから展示には制約がある。壁には穴はあけられない。画鋲が打てない。テープで貼り付けるのもままならない。環境として照明が暗い、紫外線や防犯の問題もあり実物展示はできない。

そこで机の上に写真パネルとか引き出しの中を利用したり、見てもらう工夫をしている。

また旧図書館は元図書館であり、それと連動した展示、隣接の図書館とリンクさせた資料を展示し、興味を持ったら新図書館への誘導を仕掛けている。いずれにしても普段博物館に足を運ばない客層が入館しており、それなりの効果は上げたものと考えている。

委員 旧図書館は出口が一つしかないが消防法上の問題はないのか。不特定多数が出入りする施設は出口が2か所ある必要があるのでは。

事務局 文化財には穴をあけると文化財の価値がなくなることから消防法上特例的に認められているものである。

【案件（3）平成25年度資料収集状況について】

委員長 次に案件（3）について事務局からお願いします。

配布資料に基づき平成25年度資料収集状況（寄贈資料名称・点数及び購入資料名称・点数など）について事務局が説明

委員長 案件（3）について何か質問ございますか。

委員 寄贈を受けた脇差の銘はどうなっているのか。郷土の刀工なのか。

事務局 勝光との銘が打たれてあるが、何人か該当者がいるため特定は困難である。地元刀工でないのは確かと思う。

委員 今回の寄贈品の中で襖絵修理を考えているとのことだったが、修理にはどのくらいかかりどんな判断基準で行っているのか。

事務局 古い物の修理は、元々あるものをそのままにして補う、元のおりが原則で、作家性がでる人や腕だけではだめで、商売としては成り立ちにくい面がある。また予算の関係でできなければ手をかけないという判断もあり得る。そのつど最善と考えられる方法をとっている。

【案件（4）平成26年度事業計画（案）について】

委員長 次に案件（4）について事務局からお願いします。

配布資料に基づき平成26年度事業計画案（展覧会構想）について事務局が説明後、参考質疑が交わされた。

【案件（5）その他について】

委員長、案件（5）について事務局からお願いします。

配布資料に基づき、その他（改修工事経過）について事務局が説明

委員長 案件（5）について質問ございますか。

委員 工事の進捗状況はわかったが、具体的に今までと違うポイントをお知らせ願いたい。

博物館長 まず固定展示ケースのガラスが美術館専用ミュージアムガラスにな

る。透過率が高く価格も普通のガラスに比べて高価である。固定展示ケースのほか移動展示ケースもミュージアムガラスとなる予定である。

次に外気に面するロビーなど外窓ガラスはすべて結露防止のためペアガラスとなり、ロビーの窓枠の下には温風装置もつく。

次に便所廻りです。以前洋式便器は男女一つずつでしたが、すべて洋式化する。さらに多目的トイレ、これは障害者の方、オストメイト(人工肛門)の方のほか、幼児のおむつ交換ベッドを設置したトイレに生まれ変わる。

次に玄関入口から受付に上るまで階段が三段あり、足の不自由な方から登り降りが大変という意見があることから新たに手すりをつけることとなった。

また市民会館からの電源、空調の熱源は切り離しができないため、従来どおり市民会館からの供給となり、市民会館からの受変電設備、空調設備等の機械設備更新がメインとなる。観覧者のために大型のディスプレイで津軽の歴史などを視聴覚で説明する設備などもあればいいが、予算の都合、展示室やロビーの面積の制限があって困難である。

事務局 さきほどの改修工事についての説明に一点補足します。今年度の追加工事として、これまでの建築・電気・機械設備工事に追加して屋上に再生可能エネルギーとして太陽光発電システム設置工事を行うことを補足いたします。

委員 展示室の照明の変更はあるのか。

事務局 照明はすべて全面更新となります。

委員 常設展に関して今までの資料を更新するとかは検討しているのか。

事務局 今までよりわかりやすく興味を引くような展示を心がけてまいりたい。

委員長 ほかに何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 以上をもちまして議事を終了いたします。

ご協力ありがとうございました。

事務局 いろいろ長時間にわたってありがとうございました。これをもちまして平成 25 年度第 1 回弘前市立博物館協議会を閉会します。

《弘前市立博物館事務局作成》